

<競技注意事項>

■ 共通注意事項

- (1) 本競技会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて実施する。
- (2) 大会主催者は、競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。
- (3) ウイルス性の感染症等や悪天候を含む、競技会の運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生、または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止日程変更、試技回数等を含む競技会の内容を変更することがある。
- (4) 当日の追加参加申し込みは受け付けない。
- (5) 用器具は、主催者が準備した物を使用すること。ただし、投擲器具および棒高跳のポールは各自が用意した物を競技開始前に検定を受け、許可が出た物は使用可とする。
- (6) アスリートビブスは、2026 年度登録番号(中学生は学校名・クラブ名でよい)を既定の大きさと作成した物を胸背部に付けること。跳躍競技は胸・背どちらか一方で可。
- (7) 競技に使用するシューズは、日本陸上競技連盟の規定に準ずる。
スパイクシューズは、全天候舗装用を使用し、ピンの長さは9 mm以下とする。
WA 承認シューズリストのシューズを着用していることを前提に、シューズチェックは行わない。但し、審判長の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反や疑義のあるシューズはチェックの対象となり、万が一、レース後に違反が認められた場合は、失格、記録の取り消しとなる場合がある。
- (8) 走高跳・棒高跳の試技開始ラインは、当日選手との打ち合わせで決定する。
- (9) 男女ハードルの高さインターバルは以下で実施する。
中学男子 110mH： 91.4 c m / 9.14m 中学女子 100mH： 76.2 c m / 8.00m
一般高校男子 110mH： 106.7 c m / 9.14m 一般高校女子 100mH： 84.0 c m / 8.50m
- (10) ウォーミングアップは、隣接の多目的グラウンド及び陸上競技場周辺で気をつけて行うこと。ただし開場 7：00 から 8：45 までは競技場内を使用することができる。

■混成競技実施要項

1. 選手

- (1) 控室を雨天練習場に設ける。ホワイトボードに注意事項、順位、得点を掲示する。
- (2) 最初の種目をスタートしなければ次の種目に進めない。
(DNS：途中棄権の場合は以後の種目への参加不可、NM：記録なしの場合は可能)

(3) 最終のトラック種目はそれまでの総合得点によって番組及びレーン編成する。

(4) 招集時間は、その日の最初の種目は 30 分前、以後、トラック・フィールド種目とも 20 分前
トラック種目は雨天練習場、フィールド種目は現地に集合し、混成競技系のコールを受ける。

(4) 各競技の各種目のトップ選手、及び総合得点トップ選手に景品を授与する。

トラック種目

(5) 不正スタートは、1 回目は注意、2 回目に不正スタートした選手が失格となる。

(6) 風速の平均が +2.0m を上回った場合、総合得点は追風参考記録になる。

ただし順位は参考記録のままで決まる。公認記録と参考記録を表記する。

(7) 混成競技の個々の記録は、単独種目の記録としても認められる。しかし、風力測定が求められる種目は単独種目と同様の条件が必要となる。

なお、混成競技においてトラック種目で許されている 1 回の不正スタートは、単独種目の公認記録として扱うことはできない。(CR31. 14. 4)

フィールド種目

(8) 長さを競う跳躍種目及び投擲種目の試技は 3 回とする。

高さを競う跳躍種目のバーの上げ幅は、走高跳：3cm、棒高跳：10cm とする。

同記録のジャンプオフは行わない。試技に至る個人の時間は混成競技規則の制限時間による。

2. 混成競技係

(1) 混成競技係を各種目に配置する。

(2) 混成競技係は、混成競技審判長の指示のもと、競技者係、誘導係、出発係、控室係を兼ねるものとする。

(3) 選手の控室は雨天練習場とし混成競技係は、トラック種目の場合、招集係として選手の出場意思の確認し、腰ナンバーや 800m 以上の胸ナンバーを配布する。その後、誘導係としてスタート地点まで誘導しレーンに選手を配置させる。フィールド種目は現地にて選手を招集する。

(4) 競技開始時刻の変更があった場合は、選手全員に連絡する。また記録室と連携し、競技の途中経過を掲示する。

(5) 記録係は、各競技、各種目の結果及び競技の途中経過を選手控室に掲示する。
またその結果はアナウンスされる。(ベスト 3 位)

■その他注意事項

(1) 競技中の傷害については応急処置のみとし、以後の責任は負わない。

(主催者側も保険に加入しているが、個人や所属団体でも加入していることが望ましい。)

- (2) 貴重品の保管は各自で行うこと。盗難にあってもその責任は負わない。
- (3) 応援は、メインスタンド及び芝生スタンドから行い、観客(保護者を含む)の場内へ立ち入りは禁止する。各チームからも関係者へ周知をお願いする。
- (4) 盗撮等の迷惑行為、及びそれらが疑われるような行為は固く禁止する。望遠レンズを使用したカメラ撮影は禁止する。またスマホを含め写真撮影を行っている方には積極的にお声かけさせていただきます。その際、撮影者のお名前、所属名をお聞きしますので、ご協力ください。
- (5) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて取り扱いたします。
尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成会議及び作成記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。また、報道機関より記録の提供を求められた際には記録の提供を行います。
- (6) 当運動公園の駐車場以外（緑地帯並びに道路の脇）への駐車は、施設指定管理者から厳重に注意勧告を受けておりますので、駐車場以外への駐車はご遠慮下さい。
大会運営が今後できなくなる恐れが有りますのでご協力お願いします。
- (7) 大会中止の条件
記録会当日、午前6時の時点で東広島市に「大雨警報・洪水警報・暴風警報」のうち1つでも発表されている場合や、記録会前日午後5時以降から開始までに東広島市に「震度5弱以上の地震」が発生した場合などは、大会を中止とする。

以上